

平成 31 年 3 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 6 業種、前年同等が 5 業種、悪化が 3 業種で、全体の景況感 DI 値も 2 月より好転している。

繊維工業、小売業、サービス業からは、季節需要により売上が増加したとの報告がある一方、窯業・土石製品、卸売業からは、工事量や入荷数の減少により売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、コストアップから収益が悪化しており、慢性的な人手不足が続いている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 31 年 3 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：27.5% DI 値：▲21.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：35.0% DI 値：▲22.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：30.0% DI 値：▲18.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 31 年 3 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	0.0	▲33.3	▲100.0	▲50.0	0.0	0.0	▲24.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業	全体
▲40.0	▲11.1	▲50.0	▲9.1	▲20.0	0.0	▲100.0	▲19.2	▲21.2
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	菓子業界においてはキャッシュレスよりも食品表示義務化への関心が高い。あわせて原料原産地表示制度の移行期限が2022年3月に迫り組合として対応が急がれる。	パン・菓子製造業
	2月は施設メンテナンスのための臨時休業で、実営業日が昨年より2日間少なかったにもかかわらず、総売上が対前年+10.7%と大幅に伸びた。前年に比べ降雪が少なく比較的好天の温かい日が多く、集客・売上増加の要因となったと判断している。当館に隣接している公園の早咲きの河津桜も大きな集客のフックとなった。一方3月に入ってから週末の度に天候が崩れ、3/3の「萩しろうお祭り」・3/10萩まふぐ祭りとも大雨で大幅に集客減（▲30%以上）。暖冬で開花の早かった河津桜も2月末で散り始めたため、全般に集客が落ちた。3月24日時点の総売上は、対前年同時期比▲12.3%と厳しくなった。	水産食料品製造業 萩市
	全体的に物の動きが少ない感じがする。消費増税前の停滞感であろうか、還元などはっきりしないところでの買い控えがあるのではないか。ここにきて運送費の値上げで非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	3月は東北地方などで積雪があるなど、地球温暖化による気候変動により予測できないような事態が起こっている。このような天災によって企業活動に影響が出るなど、予測不可能な危機に遭遇した際の対応について、本格的な検討が必要となる。また、今後は二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	例年3月は夏物と春物の追加生産の調整で大変な時期であるが、今年は追加が少なく動きが悪い。秋物の生産が始まるが、同様なことが考えられる。	外衣・シャツ製造業 萩市
	この時期は業界的に一番の繁忙期である。例年通りの忙しさが戻る。4、5月の夏物の動きがどうなるかは不明。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	この業界は暖かくなると少しずつ動きが出てくるが、今年はいまひとつです。	製材業・木製品製造業 岩国市
	公共工事関連が3月締請求なので、若干資金繰りが苦しい組合員がある。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	繁忙期を迎え受注量が多いが、改元の影響か帳票関係の受注は若干停滞気味である。	印刷 下関市

	昨年より物件が大幅に減少。少ない物件を同業者と取り合うため、価格が低下し売上も減少。	印刷 山口市
窯業・土石製品	3月の出荷量は (平成30年3月)骨材123%、路盤材137%、再生材100% ↓ (平成31年3月)骨材 83%、路盤材102%、再生材 87% 公共工事がないたため、石があまり動かない。4月より組合砕石単価の値上げ開始。	砕石製造業
	出荷量は、前月比117%、前年同月比93%、累計前年同月比87%。平成30年度は前年度比約85%と厳しい見通しとなっている。現時点でセメント・骨材等の資材調達では、特に問題は生じていない。生コン販売価格は県内で上昇傾向。	生コンクリート製造業
	平成に改元となった時は、「文字を掘り終えていたため作り直した」という話を聞いたが、この度は改元時期が分かっており元号も事前発表されるため、仕事上のトラブル回避が出来そうである。どのような元号になるのかも興味深い。	石工品製造業
	3月の萩市内の観光客は、前半苦戦し、後半暖かくなって増加の傾向が見られた。市内の売上は前年同月比で若干の減少。当組合員3社が参加の陶磁器フェア(福岡マリンメッセ、3月20日～24日)では、入場者数は39,767人と前年とほぼ変わらず、売上も前年並みという結果であった。ギフト・卸関係・百貨店の受注は前年同様。浅草アンテナショップ「萩の風」の売上は10%アップとなった。昨年末、木箱メーカーからのロット30の注文要請に続いて、折り箱、化粧箱についても値上げの通達があったが、原材料費と人件費の増大がその原因とのこと。それに伴い、販売価格の設定見直しも検討せざるをえない状況になってきている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	3月の景気は2月とほぼ同水準で、全般的には安定して推移している。自動車関連は順調。設備関係は、県内では大型構造物(ショッピングセンター等)が順調に工事が進んでおり、国外では中国が回復。ベトナム、マレーシアなど東南アジアの受注は進んでいる。	一般機械器具製造業 防府市
	機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等実習生を入れている全ての職種で業績は好調。残業も多い。36協定等法律の遵守を指導。機械検査の企業に若干の業務量減少傾向あり。介護職についてもインドネシアにてN4取得の研修中。制度改正に伴う3号移行者の入国も順調。即戦力として活躍している。受け入れ人数拡大枠の利用についても順調で、	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>有効求人倍率の高止まりに伴い人手不足感が高まり、今後とも技能実習生増員の傾向にある。特定技能については、説明会等も始まり4月1日からの実施に向けて企業の関心は高まっており相談が増えてきているが、具体的な手続きに不明な点が多く混乱している。登録支援機関の申請準備も進めており企業ニーズに答えていくが、実習生と特定技能での受け入れ人数の推計に苦慮している。</p>	
	<p>組合員企業の得意先は好調なところが多く、年度末での駆け込みの依頼が数件あり、全体的に忙しい月となった。しかし、相変わらずの人手不足のため、従業員への負担が大きくなる傾向となっている。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>人手不足が続くも、前年と変わらず。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
輸送機器	<p>車両は繁忙な状況が継続するも、半導体製造装置や産業プラント部門は苦戦。ただし周南地域として見た場合は横ばい。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>全体的に入庫が少なく、在庫・売上が前年同月を下回る状況。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>ふく、鮮魚ともに入荷が少ないため、価格は上昇している。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>年度替わりで文具関係・スチール製商品の売上が、例年通り増加している。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
	<p>昨年の秋ぐらいから景気の落ち込みが感じられる。消費税増税の中止を希望する。</p>	<p>各種商品卸売業 下関市</p>
小売業	<p>各お店の売上は微減。ショッピングセンターなどのインショップのお店は決算セール等の企画等で前年と同程度の売上の模様。インショップ等のポイント還元は後日共益費や販促費で引かれるので、支払い日に金額が高くなり困ることが多いとのこと。季節の変わり目で肌などが荒れる方が多く、カウンセリングがとても大切な時期である。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>年度末が近づき各所で慌ただしくなるが、やはり暮らしや経済が動き始めようとする時節は活気づくものである。小売りサービス業界も同様で、季節商品の入荷、新たなサービスの提供、歓送迎会にかかる活況が見られる。日々の売り上げが動けば、資金繰りを含めて動向は好転に向かう。とりわけ今年は、大型連休、元号改称、消費税増税、キャッシュレス決済の普及など、小売業界をとりまく話題は豊富で、何かにつけ販売促進に繋がる要素は多い。一方で、この年度末を機会に廃業や閉店する商店も少なからず見られ、街の新陳代謝を含めた今後の動向に注意、また活性化対策を講じることが喫緊の課題。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>

	新駅ビル開業以降、駅付近の集客拡大の報道があるも、商店街付近駐車場の台数減少傾向は続いている。	各種商品小売業 徳山市
	3月21日～24日に「桜まつり」を開催。日頃より人通りも多く商店街全店において少しは売上増となったように思う。また、異動時期でもあり売上につながったと思う。商店街はイベントを開催することによって客数・売上増につながるように、各店舗も工夫しなければと感じている。	各種商品小売業 山口市
	原因は不明であるが、3月は2月までに比べ商店街の来客数が激減している。4月以降に期待したい。	各種商品小売業 下関市
	1月より実施している衣料品店の店じまいセール及び、1食品店舗のセールなどの要因で前年売上は上回っているが、来月以降は厳しい売上状況と思われる。	各種商品小売業 長門市
商店街	売上は横ばい。来街者数の曜日によっての差が大きい。土、日、祝は良いが、今後の課題は平日の集客。	山口市
	商店街内のスーパーがなくなり、人出が少なくなっている。商店街は厳冬が続くと思われる。	宇部市
	卒業・入学の買い物等とおもわれるが、多少買い物客が多いように感じる。お店としては今までの減少分を取り戻すことは大変と言う。国政の方針として商店街のことも話題に出るが、商店街としては目先の来街者を求めているので、個店が知恵を出しお客さんに来ていただくよう営業しなければいけないと話している。	萩市
サービス業	卒業・入学シーズンということで年度末は例年通り、どの店も忙しくしている。スタッフをおいている店では、人員不足のためお客様を回しきれないところもあるもよう。	美容業
	暖かくなり少しは良くなるかと期待したものの、相変わらず客足は伸びない。	理容業
	自動運転技術など自動車がめまぐるしく進化する中で、整備業界は100年に一度の大変革期といわれており、3月18日には自動運転車等の安全性を確保するための制度を整備するため、道路運送車両法改正案が閣議決定され国会に送られた。この改正案が成立すると、自動車検査証の電子化（免許証方式）や車検においても電子的な検査が導入されることになり、高齢化が問題となっている整備業界ではこの速度について行けないとの不安の声も聞かれる。また、急速な自動車技術の進化に伴い、新たな整備や検査機器等の導入も必要となることから、補助金制度がますます重要な役割となることが想定される。	自動車整備業
	人口減少を感じる。人手不足感はまだまだ強い。	スポーツ・

		健康教授業
	クリーニング資材の値上げが止まらない。利益確保のために値上げ陳情もやむなしの状況。3月初旬からの暖かさもあり、例年より早めに冬物衣類が出てきているとの報告多数。しかしながら気温の変化により動きが鈍ったりする現状。結果的に3月は平年並みかそれ以下に納まる模様。価格見直しなどしないと生き残れない状況であることは間違いない。	普通洗濯業
	JR 西日本の都合により柳井駅の取次販売中止の影響が少しある模様。	旅行業
	宿泊人員は対前年同月比で98.1%と前年を割り、昨年11月から5ヶ月連続で前年割れとなっている。売上額も対前年同月比で96.6%と前年を割っている。宿泊人員の前年割れの要因としては、ふるさと納税の還元率が一昨年の12月から3割になり、納税者が激減したことが考えられる。	旅館業 山口市
	今月はスポーツ合宿等があり売上等は前年比同額となった。資金繰りは年度末で厳しい状況が続いており、資金確保の重要性が高まっている。	旅館業 長門市
	従業員確保が難しい。ビジネス客は減少しているが、個人旅行者は伸びている。	旅館業 下関市
	天候に恵まれ例年通り年度末の客足は増加。相変わらず人手不足である。外国人の労働者が増加してきている。	飲食業
建設業	中電への工事申請101件（当支部分79件）、前年同月148件（同121件）。太陽光発電への申請16件（前年26件）、オール電化申請58件（前年73件）。LED街路灯への切り替え・新規申請15件（前年27件）であった。	電気工事業
	多くの事業所で工事量の少ない状態が更に数ヶ月続く。実質的な決算内容が昨年より低下している事業所が多い。技能者の減少、事業所規模の縮小及び事業所数の減少が続く。	左官業
	雨の日が多く作業日数の確保に苦勞をしたが、3月末に全工事とも完了している。この時期は例年通り、入札も無く大きな動きが無いため、前年同月と比べても同等程度の収益である。平成31年2月に各種単価の見直しがあり、平成31年4月以降の入札から適用される。	管工事業
	新築着工物件は増加の傾向にあるが、依然として屋根材に瓦を採用する物件が低調である。施工価格の値上げの交渉は少しずつすすんでいるように見受けられる。	屋根工事業

	<p>当地区においては、災害工事を能力以上に受注して苦勞している会社、作業員不足で受注を控えている会社もあり様々。例年より災害工事がプラスとなり少し景況感は良くなっていると思われる。農業用の災害工事が発注されても不調（落札者なし）が続いており、今後の発注においても不調が予測され、発注者も困っている様子。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>昨年夏の災害復旧工事が多く発注されている。業者は工事のない時に人員を減少させているため、急に工事が出ても人手が足りなくて、辞退する工事もある模様。</p>	<p>土木工事業 周南市</p>
	<p>31年3月の受注高は、対前年同月比26.0%。今年度の累計は、対前年比158.5%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
運輸業	<p>輸送関係は国内輸送・輸出関連輸送とも増加傾向にあり、まずまずの年度末の状態推移。しかし相変わらずドライバー不足は解消せず、中小運送業の収益減少が目立ってきている。前年同月比で0.3%減。油関係は1.6円の値上げ。引取税、何とかならないものではないのでしょうか。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>今月の輸送売上高は、前年同月比約20%程度増加の見通しで、順調に推移している。燃料費は再び上昇傾向にあり懸念されるところ。依然として乗務員不足は続いているがなんとかやり繰りしてしのいでいる。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>量をさばききれず、売上は減少してしまった。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>売上の前年同月比は1%減だが、やっと平常値となった。組合員数はこの10年で40%減り、新規加入の道はなく譲渡者が75歳までというしばりの譲渡があり、高齢化で廃業する人ばかりで加入者がいないのが現状。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+0.0%（平成31年2月1日～平成31年3月20日分）。2月1日～28日分は▲2.6%、3月1日～20日分は+3.7%。2月は後半で減少率は減り（少し回復）、前年2月分を割ったまま、3月初旬も前年割れでスタート、中旬に防府競輪の大レース（国際自転車トラック競技）で回復に転じた。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。2月分については、周南▲2.7%、下松+0.2%、光▲8.6%、防府市地区が▲2.3%で、組合員の全域では▲2.7%、地区外（員外）▲0.8%、合計▲2.6%（▲530千円）。得意先別の増減は、締切り期間による増減と思えるものも多く、長期間で平滑化すると、業種や地域による傾向はあまり無いように思う。主要</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>

	<p>燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月445.0\$/トンが今月495.0\$/トン、前年485.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月390.0\$/トンが今月420.0\$/トン、前年373.0\$/トン）。為替は円高（前月109.98円/\$が111.38円/\$）。燃料単価は前月より+6.0%上がり、前年3月分に比べると+2.9%と大幅に上昇している。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。労働条件の改善のため、タクシー運賃の改訂を希望する事業者が、運輸局に申請しているが、申請事業者数が一定割合を越えたので、運賃改定が行なわれることになった模様。</p>	
	<p>今月の取扱高は、4社中2社は若干増加するものの、取扱高に占める割合が大きい1社が減少した結果、対前年同月比で若干の減少となった。</p>	<p>港湾運送業</p>
	<p>実習生が入国しました。いよいよ技能実習が本格化するののでしっかり支援をしていきたいです。</p>	<p>介護事業</p>